

くまもと物語 12

鉄道

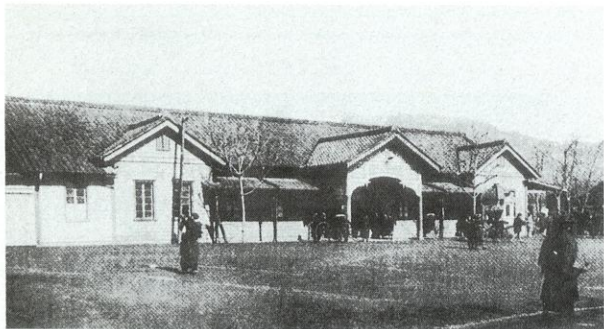
人々に新しい未来と希望を与えたくまもとの鉄道



どこに行くにも、なくてはならない鉄道。開通以来、私たちにさまざまな夢と希望を与えてきました。今回は、そんな鉄道の歴史と未来を探ります。

●南宮畑にできた熊本初の停車場

熊本に鉄道が通ったのは明治二十四年の七月一日のこと。現在の熊本駅は、当初中心街の高麗門町付近（現熊本市新町）にできる予定でしたが、文明の利器への理解は薄く、地元住民の大反対にあいます。一方春日村では、停車場設置で生まれる新商売に期待し、駅誘致運動を展開。全面協力の元に春日駅（現熊本駅）が誕生します。当時の春日村は春日南宮の特産地。駅は、南宮畑の中にぽつんと建てられました。春日駅オープンの日、構内では相撲などの余興も披露され、駅周辺は大賑わい。初めて見る汽車に、見物人は汽笛が鳴れば散り、蒸気を噴出するときに逃げ出す有様でした。



明治30年代の熊本駅 春日村に停車場を設置したので、はじめ春日のステーションと呼ばれていた。駅前右手に人力車溜が見える。（熊本鉄道管理局記念誌「線路は続くよどこまでも」より転載）

●地方へ、東京へ、世界を広げる鉄道

その後、線路はみるみる延長されました。明治二十九年十一月の熊本・八代間の開通に続き、三角線、肥薩線、豊肥線が開通。昭和二年には現在の鹿児島本線が完成します。昭和二十五年には待望の東京急行列車「阿蘇線」が新設。三十九年には電化工事が開始され、スピードは飛躍的にアップ。エンジンも改良され、国内の時間距離は短くなりました。

一方、鉄道の楽しみ方も広がりました。お座敷列車や近未来的なデザインの列車なども運行され、鉄道は単なる移動手段だけではなくなっています。



ビジネスにレジャーに。鉄道はさまざまな思いも運びます。

●一本の線路で結ばれる本州と九州

環境という面からも、今後新たな役割が期待される鉄道。通勤などに際して鉄道などの公共交通機関を利用しやすくする、「パーク・アンド・ライド方式」などが熊本でも検討されています。

九州新幹線にも期待が集まっています。開通すれば、博多・熊本間が二十四分で結ばれ、熊本・福岡間の通勤はもろろんのこと、京阪神まで日帰りで行復できるようになります。遠く熊本から青森まで、新幹線という大動脈で結ばれることになり、新しくおこる人・物・情報の交流は、暮らしや、ビジネス、レジャーにさまざまなバリエーションを生むでしょう。昔も今も鉄道は、新しい夢と未来を、私たちに運んでくれる存在なのです。

慢 自 ち ま が わ

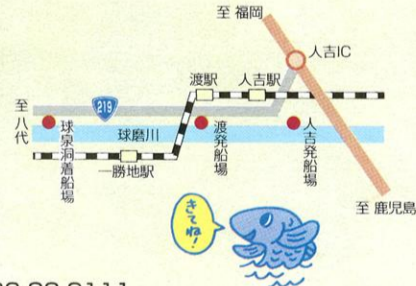
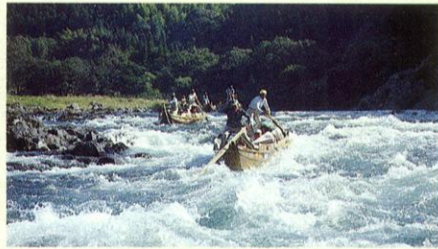
母なる球磨川で遊ぼう!! 今年ラフティングが面白い



紹介者 永田 真矢さん

人吉市の東西を貫流している球磨川は日本三急流の一つです。この球磨川は、「くま川下り」でも有名ですが、最近は、ラフティングを行う若い人たちが増えています。このラフティングは、ラフトボートと呼ばれるゴムボートに乗って、ホワイトウォーター（激流）を下るスポーツ

です。九州では唯一「球磨川」で体験することができます。泳げない人でもライフジャケットを着用し、リバーガイドが、皆さんの安全をサポートしてくれます。今年の夏は、球磨川で遊びましょう。川の魅力にとりつかれること間違いなし!!!



●お問い合わせ先/人吉市観光振興課 ☎0966-22-2111

人気タレントの作品が一堂に 【菊池夢美術館】



紹介者 福田 郁雄さん

杉良太郎、五月みどり、ジョン・レノン、藤井フミヤなど、人気タレント34人の絵画、陶芸作品等を106点展示しています。石井竜也（元米米CLUB）の創造力あふれるダイナミックな壁画や、特別展示室に設けられている杉良太郎の油絵作品など、皆さんに幅ひろく楽しんで

いただける作品がいっぱいです。また、タレントグッズ販売コーナーがあり、ジョン・レノン、杉良太郎のポストカードや五月みどり、片岡鶴太郎、加山雄三のハンカチは特に人気があります。夢と希望をあたえる夢美術館にぜひお越しください。



●お問い合わせ先/菊池夢美術館 ☎0968-23-1155



県広聴制度のご案内

知事への直行便

県の出先機関、市町村、公立病院、郵便局、銀行、農協などに専用の封筒と便せんを置いてあります。提出された直行便は全て知事が目を通します。県政に対する自由な提案、ご意見をお待ちしています。

県政モニター

県民の中から二百名の方にモニターになっていただき、継続的に県政に対するご意見、ご提案をお伺いしています。

県民相談

県政に関するさまざまな相談をお受けしています。受付時間 月曜～金曜、九時～二時、二時～六時 ☎096-383-1111（内線3142・3143）

動く県政教室（県政バス）

応募により県の施設などを見学し、県政への理解を深めていただきます。

県広報のご案内

「県からのたより」●年六回発行（偶数月）
「彩り」（熊本県の豊かさをお伝えします。A4判28ページ）
●年四回発行（四月・七月・十月・一月）
●愛読者募集中です。送料として千八百円（四回分の郵便切手を同封のうえ、左記あて先へお申し込みください。）

「点字広報誌」

●「県からのたより」「彩り」は、視覚に障害のある方のための点字版、録音版があります。詳しくは、熊本県点字図書館（☎096-383-6333）までお尋ねください。

「RKK」月刊くまもと情報

●毎月最終日曜日と月曜日

「TKU」くまもと探偵隊

●毎週土曜日 二時五十分～三時

「KKT」クロースアップ!熊本

●年間九本（三〇分八本・六〇分一本）

「KAB」くまもとウィークリー

●毎週日曜日 一七時五分～二〇分

「RKK」ふれあいくまもと

●毎週月曜日～土曜日 一〇時三十分～一〇時三十分

「FMK」県庁ダイアリー

●毎週月曜日～金曜日 七時三十分～七時三十分

「CITY FM」LOOK IN くまもと

●毎週木曜日 一八時三十分～四〇分

ホームページ

県政に関する情報は、インターネットでも提供しています。
http://www.kings.co.jp/kumamoto-pref/
「熊本県庁ホームページ」に関するお問い合わせは、熊本県企画調整課まで。

読者の方々のご意見をお待ちしています。
あて先
〒862-8570
熊本県広報課「県からのたより」係
※県庁の住所は不要です。
☎096-385-2096 FAX096-386-2040